

# 令和5年度日本カヌースプリント選手権大会



**2連覇  
優勝**

あおき みづき  
**青木 瑞樹**  
3等陸曹

## カヤックシングル 1000m

令和5年9月5日～9月10日、木場カヌー競技場(石川県小松市)にて、令和5年度日本カヌースプリント選手権大会が開催された。自衛隊体育学校からはカナディアン(片漕ぎ)種目に4名、カヤック(両漕ぎ)種目に2名が出場し全員が決勝に進出、うち3名が優勝、2名が入賞の快挙を取めた。これにより、パリオリンピックを前にナショナルチーム入りは5名となった。

9月7日、青木瑞樹3等陸曹は絶好のコンディションでカヤックシングル1000m予選を1位で通過、同日の決勝はレース中盤から先頭に立ち独走。後半、元オリンピック銀メダリスト ラヨシュ選手(連盟が大会参加を公認)の追い上げを受けるも寄せ付けず2秒の差をつけトップでゴールし、本種目2連覇を成し遂げた。9月8日のカヤックシングル500mでも後半の追い上げで3位と善戦。青木3曹は「夏場の大会で1位の結果に満足している。3月の選手権でも1000mでオリンピック行きの切符を手にした」と語った。



佐藤光2等陸曹はカナディアンペア500mで吉田俊吾選手(鹿児島県カヌー協会)とともに出場。強い向かい風と高い波に苦戦しつつも的確にペース配分を行い首位でゴール、初優勝を手にした。また、カナディアンシングル1000m決勝において、ライバルの日本代表富塚選手を力強い漕ぎで後半必死に追い上げたが、わずかな差で2位。佐藤2曹は「オリンピック種目にペアで優勝できたことは大きい。1000mは0.2秒差で優勝を逃したことは本当に惜しかったが、次は優勝したい」と語った。

## ペア2組優勝

坪田恵2等陸尉は小林実央選手(武庫川女子大学)とともにカナディアンペア200mで勢いをつけ独走、2位に3秒差をつけて優勝、ペア500mでも2位を獲得した。小林選手とは2年前からペアを組んでおり、本大会前に8月にドイツで行われた世界選手権にも出場している。

シングルでは200mが4位、500mが7位に終わり坪田2尉は「波が高く思うようなレースができなかったが、各大会で試合経験を積み頑張っていきたい」と語った。



監督の石川浩二2等陸尉は今大会の成果について「優勝は少なかったものの、日本代表選手とタイム差がほとんどなく、各選手が力をつけてきていることを実感した。初参加の熊井雄弥海士長もカナディアン500m13位と健闘し、ロス五輪に向けた若手育成も順調に始まっている。まずはパリ五輪に向けて、フィジカルはできているのでテクニックの向上を図っていきたい」と語った。

なお、選手のオリンピック選考は来年3月開催予定の国内選考会及び来年4月海の森水上競技場(東京都)で開催予定のアジア大陸予選で内定する。各選手はこの2大会出場を目指して引き続き練成を行う。



種目		総合成績				
種目	氏名 階級	シングル1000m	シングル500m	ペア500m	シングル200m	ペア200m
カナディアン	坪田 恵 2等陸尉	—	8位	準優勝	4位	優勝
カナディアン	佐藤 光 2等陸曹	準優勝	7位	優勝	—	—
カナディアン	篠 碧透 2等陸曹	—	準優勝	4位	4位	—
カヤック	青木瑞樹 3等陸曹	優勝	3位	—	—	—
カヤック	富塚晴之 陸士長	—	準優勝	—	3位	—
カナディアン	熊井雄弥 海士長	—	13位	—	—	—